ペットの肥満

ペットは将来や健康のことを考えません。つまり、ワンちゃんやネコちゃんは、チャンスがあればいくらでも食べてしまいます。人間と違って、ワンちゃんやネコちゃんには食べ過ぎが体に良くないことが分かりません。

そのため、ペットの飼い主様にはペットのエサの量を管理する責任があります。ペットの体重は、エサの量とおやつの管理を続ければ、適正に維持できます。エサを欲しがっても余分にあげないなんてかわいそうと思われるかもしれませんが、ペットを太り過ぎで不健康にするほうがずっとかわいそうです。

太り過ぎや肥満のペットは、肥満の人間と同じように健康上のリスクが高まる可能性があります。肥満によって、糖尿病、肝疾患、および不安神経症が発症する可能性があり、これまでの状態がずっと悪くなることもあります。これらのリスクにかかわらず、ペットの肥満は年々増加しています。

ペットが太り過ぎかどうか判断するのが難しいことがあります。人間に使用されるBMI（体格指数）と異なり、ペットには共通の測定基準がありません。ネコちゃんやワンちゃんの体重が気になる場合は、獣医師に診断やアドバイスを得るのが最も効果的です。

ペットが太り過ぎであることを確認したら、手順に従ってそれを是正することが重要です。

- ペットに与えているペットフードの種類を確認します。ペットには、「おなかいっぱい」になるタイプのペットフードは必要ありません。そのようなタイプの場合は、切り替えてみる価値があるかもしれません。太り過ぎのペット専用のエサもあります。
- 与える量に十分注意してください。一部のペットフードメーカーは、パッケージに不必要に多く給餌量を記載しているとして非難されています。量を加減しながら、ペットに本当に必要な量を判断しましょう。
- おやつと残り物は慎重にあげてください。これは、訓練におやつを使う飼い主様や、残り物をエサとして与える飼い主様にとって特に重要な問題です。おやつや残り物自体は何も悪くありませんが、このような余分な食べ物をワンちゃんに定期的に与えている場合は、それに応じて通常のエサの量を調整する必要があります。
- ペットをもっと運動させましょう！ワンちゃんの場合は、散歩の時間を長くして、もっと頻繁にリードを外してあげましょう。ネコちゃんの場合は、遊んであげる時間を増やしてあげましょう。ボール、レーザーチェイサー、猫じゃらしを使えば、どのネコちゃんも喜んで運動します。
- ネコちゃんには、フィードボール（エサが出てくるボール）を使ってみてもよいでしょう。このおもちゃでは、ネコちゃんがボールで遊ばないとエサを取り出せないようになっています。プラスチック製のボールの数は、ネコちゃんのドライフードの1日の量に合わせて設定することができます。そのため、ネコちゃんのエサの量を管理しながら、運動をさせることもできます。

太り過ぎや肥満のペットに関して結論を言えば、この問題は飼い主様の行動にかかっています。ネコちゃんもワンちゃんも与えられただけ食べてしまうので、それが適切で健康的な量であるかは飼い主様が確認する必要があります。

ワンちゃんやネコちゃんがごみをあさったりよその人からエサをもらったりして食べている場合は、問題の原因を突き止めて解決しましょう。重要なのは、適正体重のネコちゃんやワンちゃんのほうが長生きしてより楽しく暮らせるということです。